

一 究 嘉永五年三月 渡良瀬川通り下早川田河岸の船問屋取引

き再開願い〔B〕

願一札之事

一 其御村方并ニ佐貫・日向村両村」之儀者、古来^{こらい}に貴殿江船問屋」
 世話相願申置候処、久々拙義」相休、亦々去亥年^{おうこ}に往古之通、」
 船問屋役被ニ 仰付ニ候ニ付、所々」別段ニ相改メ、古来之形ニ
 而相願」申候、尤貴殿世話内之儀者、庭之」津出シ壱割口銭取
 可^レ申、野辺之儀者」五分口銭取可^レ申候、若勘定無^レ之」運送
 いたし候方有^レ之候ハ、」下拙方迄早々進達可^レ被^レ成候、」其節
 拙出役致取調可^レ申、其上」問屋掛り 御役人様江及ニ達し、」
 御下知ニ任取計可^レ申候、為^{ねんのため}ニ念之」願一札差出シ申処、如^レ
 件

嘉永五子歳

上州邑楽郡下早川田村

三月

船問屋

市郎右衛門㊦

同国同郡

鶉村

泰吉との